| 資料№.７ | 経済建設常任委員会所管事務報告資料<br>令和８年10月７日【経済部花と緑・観光課】 |
|---|---|

# 恵庭自然体験・観光まちづくり協議会の設立について

第 3 期恵庭市観光振興計画において重点施策の一つに位置付ける「アウトドアツーリズムの推進」の実現に向け、令和 8 年 6 月の当委員会において設立準備状況を報告したところですが、その後、協議会が設立され、令和 8 年度事業に着手しましたので、その状況を報告いたします。

## 1. 協議会の概要

本協議会は、豊かな自然資源を活用し、関係者が連携して持続可能なアウトドアツーリズムを推進することを目的として設立したものです。

あわせて、住民の生活環境との調和を図り、次世代へ恵庭の魅力を引き継ぐための持続可能な地域づくりに寄与するものとしています。

| 区分 | 内容 |
|---|---|
| 名　　称 | 恵庭自然体験・観光まちづくり協議会 |
| 設立総会 | 令和 8 年 7 月 15 日 |
| 事 務 局 | 恵庭市経済部花と緑・観光課 |

## 2. 体制

（1）会員の状況（令和 8 年 8 月末現在）

| 区分 | 数 | 主な構成 |
|---|---|---|
| 正 会 員 | 6 事業者・団体 | 自然体験事業者、観光協会、商工会議所等 |
| 賛助会員 | 4 事業者・団体 | 宿泊・交通事業者、旅行・飲食事業者等 |
| 計 | 10 事業者・団体 | |

正会員は、協議会の目的に賛同し主体的に事業に参画する個人、法人及び団体で、総会での議決権を有します。

賛助会員は、資金的、技術的、または人的・物品支援等により事業を支援・後援する法人及び団体で、議決権は有していません。

なお、現在も複数の事業者から参加に向けた相談が寄せられており、今後さらに会員数が増える見込みです。

（2）役員

| 役職 | 氏名（敬称略） | 所属 |
|---|---|---|
| 会　長 | 庄司　開作 | えこりん村　代表 |
| 副会長 | 松澤　直紀 | 支笏ガイドハウスかのあ　代表 |
| 監　事 | 磯　真帆 | フォレストアドベンチャー・恵庭 |

設立総会において、上記のとおり役員を選出しました。

役員の任期は、令和 8 年 7 月 15 日から令和 11 年 6 月 30 日までです。

（3）アドバイザー

協議会では、安全管理やローカルルールの策定を実効性あるものとするため、専門的知見を有する団体等にアドバイザーとして参加いただくこととしています。

○ 北海道アドベンチャートラベル協議会（参加決定）

全道的なアドベンチャートラベルの取組に精通した知見を活かし、観光ルートの造成・磨き上げ、ガイドの安全管理体制の構築、人材育成に関する助言を得ます。

○ 国・北海道（河川管理者）（参加を協議中）

水辺を活用したプログラムの実施に当たっては、河川管理者である国・北海道との調整が不可欠であることから、現在、協議会への参加を呼びかけているところです。

えにわ湖等における水辺利用の可否や必要な手続、利用時間・活動内容に係る条件、出艇場所の環境整備の可能性などについて助言を得ることで、安全で持続的な水辺活用のルールづくりにつなげたいと考えています。

特にえにわ湖では、利用にあたり管理者の承諾を要することや、利用時間・活動内容に一定の制約が生じる可能性があることから、あらかじめ利用可能な条件を協議することとしています。

また、桜公園下流の区間についても、水辺利用の可否や必要な手続の確認が必要となっています。

## 3. 令和 8 年度の主な事業

恵庭市の豊かな自然資源を生かした観光コンテンツを開発するため、観光資源の調査及び市民や地域住民向けモニターツアーを企画・実施することとしています。

○ Web サイトの開設・情報発信
○ 観光資源調査及びモニターツアーの実施
○ 運営会議の定期開催（年間を通じて実施）
○ モニターツアーの効果検証及び次年度事業計画の検討

## 4. 進捗状況

（1）ホームページ作成

現在、協議会の統一的な情報発信の基盤となるホームページの作成作業を進めています。事業計画では、設立総会後、速やかに Web サイトを開設することとしており、協議会及び市内自然体験コンテンツの情報を一体的に発信します。

（2）モニターツアー・観光資源調査の準備

会員事業者から「モニターツアー・資源調査 企画書」の提出を受け、実施に向けた準備を進めています。

| 企画・調査名 | 実施予定 | 主な内容 | 代表事業者 |
|---|---|---|---|
| 夏季プログラム調査 | 8 月～10 月<br>（4 日間程度） | ナイトカヌーの発着地確保、紅葉スポット等の資源調査 | 支笏ガイドハウスかのあ |
| 恵庭ナイトカヌー<br>～星空観察～ | 9 月下旬以降 | 夜のえにわ湖でのカヌー体験、えこりん村との連携 | 支笏ガイドハウスかのあ |
| カヌーカレッジ | 10 月初旬 | カヌー操船講習、人材育成・会員間の連携強化 | 支笏ガイドハウスかのあ |
| 森でつながる、未来を植える。 | 10 月 1 日～11 月上旬 | チームビルディング×植樹体験プログラム | フォレストアドベンチャー・恵庭 |
| 冬季プログラム調査 | 12 月～1 月<br>（2 日間程度） | 盤尻地区の冬季コンテンツ調査、安全管理運行規程の作成 | 支笏ガイドハウスかのあ |
| 冬季モニターツアー | 1 月中旬 | えにわ湖・凍った滝周辺のスノートレック | 支笏ガイドハウスかのあ |

※上記は現段階のものであり、今後さらに増える見込みです。

ナイトカヌーでは、キャンプと水辺アクティビティを組み合わせ、日中だけでなく夜間も楽しめる滞在型観光の可能性を検証します。

冬季モニターツアーでは、コンテンツの魅力度を検証するとともに撮影を行い、次年度以降の商品販売に備えます。

また、冬季プログラム調査では、中止基準や緊急連絡体制等を定める安全管理運行規程を作成し、冬季の湖面利用について河川管理者の理解を得ることとしています。









## 5. 財源

本協議会の令和 8 年度事業は、（公社）北海道観光振興機構の令和 8 年度伴走支援型観光地域力強化推進事業（サスティナブル枠）の採択を受けており、同事業を活用して実施しています。

## 6. 市の関わり

民間主導を原則とし、市は事務局として運営の支援や事業実施に伴う関係機関との協議等を担います。

事務局は、協議会の運営に係る事務処理、会議の調整、会計処理及び情報発信を行うこととしており、将来的な民間主導への移行を見据えて運営体制の見直しを検討することとしています。

## 7. 今後の取組

- ○ ホームページを早期に開設し、協議会及び市内自然体験コンテンツの統一的な情報発信を行います。
- ○ 夏季・冬季の観光資源調査及びモニターツアーを順次実施し、安全管理体制の整備と併せてコンテンツの磨き上げを進めます。
- ○ 河川管理者等の関係機関との連携体制を構築し、水辺の持続的な活用を図ります。
- ○ モニターツアーの効果検証を行い、次年度事業計画の検討につなげます。
- ○ 参加相談のある事業者への働きかけを継続し、着地型観光の商品化と域内経済循環の促進に取り組みます。